

地下茎のつくりと 地下茎のつくり

180号

地下茎会

'83 4.25
発行

自然に学ぶとは...

私たちはよく言う「自然に学べ、草木に学べ」と。では、その自然に学ぶとは、どう言うことをいっているのであろう。「学ぶ」という言葉は、学ぶ主体のみならず、その対象をも「変革」させるものであろう。だとするなら、私たちは、「あるがままの自然」を対象とするのではなく、人間が、その「自然」にどう関わり、それを、どう「変革」させてきたかを見ることは、大いに「自然に学ぶ」ことになるのでは...

舟川の東側に、姫路城。その他全国の城の瓦をつくらした瓦屋がある。「日本一」という瓦屋が今もたちならぬ。西側にはどうして一軒もないのだろう。うちの母親は、よく言う「生野峠を越えるときは、パンとつ忘れても今充れるな」「ネスルのコーヒーにおいがしたら、明日は雨や」と。百姓だけを生涯やりつづけてきた彼女こそ、すばらしく自然から学んでいるのでは。そして、彼女こそ私の教師である。

5月21日(土)例会

福崎高校
化学(準)室

PM 2:00~

- ▶ イオンと化学変化(中3) → 「植物の世界」
周期表(中2.3) → テキスト 植栽会に
- ▶ 「楽しい授業講座」参加報告(橋本) その他

5月28日(土)学習会

福崎高校
化学(準)室

PM 2:00~

- ▶ 授業から生まれ、授業を学ぶ(土)
「化学入門」(新生出梅)
これからの学習会のそと、について含めて話し合います。